

一 般 質 問

(4面~7面)

6月3日、5日、6日、9日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

会派の略称

| | |
|----------|---------------|
| (自民党小金井) | 自由民主党小金井市議団 |
| (日本共産党) | 日本共産党小金井市議団 |
| (公明党) | 小金井市議会公明党 |
| (市議会民主党) | 小金井市議会民主党 |
| (みんなの党) | みんなの党・小金井刷新の会 |
| (生活者ネット) | 生活者ネットワーク |
| (改革連合) | 改革連合 |
| (市民自治) | 市民自治こがねい |
| (市民会議) | こがねい市民会議 |
| (こがねい) | 小金井をおもしろくする会 |

福祉のまちづくりを進めるために

五十嵐京子(改革連合)

ソフト面での福祉のまちづくりの推進を求める。(ア)拠点となる福祉会館の建て替えに当たっては、場所、機能、完成時期、建設過程での市民参加、財政計画の進捗状況を問う。(イ)新しい福祉会館に、様々な福祉団体が横断的に交流を進め、情報交換ができるスペースを確保しないか。

福祉保健部長 (ア)庁内で検討



学区の見直しについて検討を開始すべき

小林正樹(公明党)

①40年近く学区の大きな見直しが行われていない。中学校では、1人当たりにおける敷地面積は2倍の差が、校庭面積は3倍以上の差が生じているところもある。大規模校と小規模校のそれぞれのメリット・デメリットがあるが、道路や住宅環境の変化を踏まえ、十分な検討が

学校教育部長 他市の事例等の調査・研究を学校教育部内で行い、その状況も踏まえて諸条件を整え、市内の作業部会を開催していきたい。

②玉川上水の整備活用について。(ア)多くの方が訪れる緑道の植栽の整備を、積極的な市民の



武蔵小金井駅南口のまちづくり成功に向けて

百瀬和浩(みんなの党)

(ア)武蔵小金井駅南口第2地区市街地再開発事業における開発区域として、小金井街道に面する全ての部分が入っていないが、このような決定をした合理的な理由は何か。(イ)南口第2地区の計画は、10万平米を超える開発でありながら、公共施設の計画がない。市長はここに公共施設

を計画するつもりはないのか、改めて伺う。(ウ)まちづくりの基本原則は住民参加である。準備組合と市民が見解や情報を交換する場を行政がつくっていただけないか。

都市整備部長 (ア)事業施行者である準備組合からの提案があった区域である。準備組合の意向を最大限尊重し、この区域と



している最中だが、場所については本町暫定庁舎のあるところが有力な候補地である。機能として、現福祉会館5階の保健会場を入れることは考えていない。市民参加はパブリックコメントの実施も考えている。財政については様々な補助金の調査を行っている。(イ)検討していきたい。(ウ)経済課とも連携しながら考えていきたい。(エ)夏には国がガイドラインを示すこととなり、おり、今後検討していきたい。

■その他、「小長久保公園の活用について」を取り上げました。

活力を生かして行うべき。(イ)実効性のある木の維持管理体制を築くべき。(ウ)高齢化社会に対応した緑道のスロープにすべき。

都市整備部長 (ア)提案は理解するが、緑道への新たな植栽等は文化財保護法の規定により文化庁の許可が必要。(イ)維持管理は市、東京都水道局・教育庁、市民団体が協力する体制で今後進める。この4団体が一堂に会する定期的な意見交換については、参考にしつつ検討したい。(ウ)バリアフリーの観点はなくさない。慎重に検討したい。

市長 (イ)基本的に、小金井市が保留床を買わないことには変わりはない。市民要望があればそれを全く否定するものではないが、現実的には無理だと考えている。特に最終的にこの事業の成り立ちが難しくなったときに、市が採算性を取るために保留床を買うということはない。

まちづくり担当部長 (ウ)準備組合として、計画の進捗に感じたい説明の機会を作りたいとの意向があることを聞いている。

一般質問とは

議員が議案を審議・議決する以外に、市政全般にわたり、市長や行政機関などに対し、質問することができます。市が行う事務の状況や将来に対する方針などについての質問をし、報告や説明を求めることをいいます。



議会 Q & A

- Q 一般質問はいつ行われるの？
- A 原則3月、6月、9月、12月の年4回の定例会で行います。
- Q 質問時間はどのくらい？
- A 1人1回おおよそ1時間以内です。
- Q 傍聴はできるの？
- A だれでも傍聴できますので、議会事務局で傍聴の手続きをしてください。

東小金井駅北口の土地区画整理事業の推進を

中山克己(自民党小金井)

平成31年度完成を目指す土地区画整理事業について。(ア)今年度の事業内容は。(イ)最優先の駅前交通広場は。(ウ)全体の進捗率と工事の作業手続は。地権者から事業全体がどうなっているか分からないという声もあり、情報提供を的確に。地権者の将来の生活設計の点からも予定どおりの完成を目標に事業推進を。

まちづくり担当部長 (ア)今年度も順次移転工事を進め、駅前交通広場の暫定整備、都市計画道路の一部築造工事、整地等を行う。スムーズな事業進捗を図るため計画的な建物移転を図る。

(イ)交通広場の整備は、本年度は北側、翌年度に南側、その後本整備を行い、3年程度で完成させたい。(ウ)昨年度末の進捗率は、累計事業費ベース約37%、仮換地指定率約55%。今年度見込みは、累計事業費ベース45%、仮換地指定率60%。手続は、次の方が宅地整備後の換地に移転するという玉突きのようなサイクルを繰り返して事業を進める。小さな宅地も多く、目に見えるまで少々時間がかかり様々な機会を捉えて情報提供に努めたい。

■その他、保育の更なる充実、消費税増税後の商業振興の取組、市民サービス向上への民間委託推進を質問・提案しました。



誰のための武蔵小金井駅南口再開発なのか

白井 亨(こがねい)

(ア)再開発自体には反対しないが、都市計画マスタープランの46ページには第2地区の再開発については権利者だけでなく市民意向を踏まえる旨、65ページには市と事業者と市民の協働について、66ページには市全体でまちづくりの空氣を高めて情報収集・提供・意見交換などを

進める旨が書いてある。これらはどのように進めたのか。(イ)実質的に市民の意向を酌んでいるのかを聞きたい。(ウ)「公共性が極めて高い」と市長は答弁されたが、それは広く一般の利害に関わるという意味である。なおさら広く市民参加をすべきではないのか。

都市整備部長 (ア)都市計画法



第16条に基づく説明会を開催し、直接原案に対するご意見を聴く機会や当該地区以外からも意見を聴く機会も設けている。より丁寧な情報提供の在り方について、今後も準備組合に指導していききたい。(イ)法律に基づき、規定の中でやっている。

市長 (ウ)市民の意見は聴く。また、質問にも答える。準備組合にも市民の声を聴くように言っている。

■その他、「保育の質と量」「シティブロモーション」について質問・提案しました。